

天才に對しては母の慈愛に似た友情が大切である。之が小澤君の死と共に最も判然筆者に感ぜ

られたことである。

伊太利ところぐ (三)

瀧川規一

〔フアシスト黨と詩人ダヌンチオ〕フ黨が世界大戰に參加した歸還兵を抱き込んで今日の隆盛をなす基礎を作つたと云つて了へばそれまでであるが、フ黨と雖も斯く單純に政黨化したのでなく、また斯く簡單にフ主義の深さと大きさを築き上げたのでない。今日まで幾多の消長を経て來て居る。政黨が主義化し理論化して識者を傾聴せしめるに至るのは全權を握つてから後のことである。政黨が擡頭し始める頃は只敵を仆す爲めの武器の一として一本調子の旗印を振り翳すに過ぎないのが常である。然るに最初から主義理論を説く政黨及び社會運動には外

來の輸入運動のお先棒を務めてゐることが多いフ黨の經緯を仔細に觀察する時、フ黨が伊太利獨得の主義政黨たるに至るまでには矢張り上述の一本調子で運動を續けてゐた。フ黨は一九一九年頃には戰爭參加の舊軍人から餘り多くの援助を得て居なかつた。フ黨が國政に直接干與したのは詩人ダヌンチオが有志義勇軍を率ゐてフユーメ(Fiume)を占領した後のことである。

世界大戰に際して伊國は主戰論者と非戰論者とが論争を續けた結果、主戰論者が輿論を制し伊國も亦佛英の側に加つて大戰に參加することになつた。然るに參加の際同盟國との協定に不

用意であつたが爲めに伊國は戰勝後何等の得る處もなかつた。領土的にも物質的にもまた精神的にも、米國のウキルソン大統領の外交政策は戰勝の榮譽を分担する伊國に何の與ふる處もなかつた。伊國の主戦派は自ら不満を抱いた。彼等は自國の政治家等の手腕を信じ兼ねた。彼等は政治家等の意志に反し直接行動に訴へて古代の伊國の一都市であつたフェューメの占領を企てた。由來感激し易く亢奮し易きは詩人である。

この古代の伊國の都市を伊國の領域に復活せしめんとする領土熱に慳^{ツツ}されたのは伊國無双の人氣詩人ダヌンチオその人であつた。北は白耳義國にメーテルリンクあり南は伊國にダヌンチオありとのみ心得て居た連中はダヌンチオがフェューメ占領の首唱であることを聞いて今更の如くに驚いたのである。而かも詩人が占領軍の直接指揮者であり猶且つ詩人が占領した都市の行政的首腦者たらんとすると云ふ報知を耳にしたのである。世界の人々をして自己の耳を疑はしめたのは尤も至極なことである。理性の政治的争

闘に永年勞苦を積みて來た政治家等はこの舉を聞いて熱狂詩人何事か成し得んと最初は一笑に附してゐた。然るに何ぞ圖らん、所謂リージョン (Ligorn) と稱する一味の義勇軍團は聯合軍の管理下にあるフェューメを一九一九年の九月に物の見事に占領し遂げたのである。のみならず所謂カルナロ (Carnaro) の憲法なるものを發表する政治的手腕を見せたのである。而かもこの憲法に包含されたる主義綱領が後日フ黨の政治的主義の骨子たらんとは何人も豫想せざる處であつた。

フェューメ市占領の義勇軍は志願兵から編成されてゐたのでこれをリーヂョナリス (Legionari) と云つたのであるが、そのうちには詩人の熱辯に動かされて參加した者もあれば、伊國軍隊の逃亡者も居つた。ムソリニはダヌンチオの舉兵を見て大に感激した。彼は詩人の舉兵に感動したのみならず積極的に賛意を表した。ムソリニは詩人の爲めに軍資金の調達をしてやつたダヌンチオはまた一九一九年の十一月の選舉期

には大々の援助をフ黨に與へた。近頃我邦で有名な『必ず御禮をする』の意味を實現したのである。後にはフ黨も亦更に『お禮をして』フエーメの憲法を承認する最初の政黨となつたのである。

フエーメ占領に反對したのは聯盟各國ばかりではなかつた。羅馬政府も亦これに反對した。伊國內の社會黨も亦反對した。歐洲各國の政治家及び頭首は斯る有志者の軍事的行動はボルシエズムよりも更に危険不可測なものであると考へた。私的團體の軍事的行動は國際的友誼關係を徒に擾すものであると一般に考へられた。若し私的團體の軍事的非軍事的な組織的運動が他國を危険に導くや否やの點のみを史的に觀察するならば印度占領の基礎を作つた英國東印度商會のとつた手段も亦その範圍を出でない。濠洲殖民から白濠に至るまでの所謂冒險者の行動も亦それに餘り多くの隔を持たない。その他露國の所謂潛行的戰術の實行者をはじめ些かにも無理な廉を包む運動主義者の行動も亦こゝに謂

ふ處の危險的私的團體の範疇に屬するのである。ダヌンチオの擧兵は只餘りに公々然と行はれたので世界の耳目を聳動せしめたるに過ぎない。

哀にもダヌンチオにとつては後楯となる可き中央政府が無定見であり餘りに列國に對して腰が弱かつた。遂に羅馬政府は、聯盟國とラパロ(Rapallo)の條約を協定しその結果彼ダヌンチオはフエーメから驅逐されることなつた。越えて一九二〇年にはフ黨も亦ラパロ協定を承認するに至つて、詩人は遂に伊太利本國に歸り爾後政治的運動から隱退すべく餘儀なくされた。

ダヌンチオの運動に直接參加した首領株はフ黨に見放された爲めにフ黨には加入しなかつた然しながら詩人の理想は詩人一個の隱退によつて永久に消滅し過去の遺物とはならなかつた。カルナロの憲法に包含された思想はフエーメより歸還した軍人等によつて種々の社會的團體に間接直接に宣傳された。そのうちにも後にフ黨に加入した軍人等は遂にフ黨の中堅となつた。フ黨が外面に於て軍隊的組織をとり愛國的使命

の直接實行者たる外觀を呈したのは主としてこれ等軍人出の黨員の影響であつた。内面に於ては後日フ黨が天下の全權を握つた際政治的主義の骨子をなしたのは既に述べた如く詩人の思想を表現してゐるカルナロの憲法であつた。フ黨が全權を掌握して以來伊國政府が詩人に與へたヴェニスの大運河に面する恰好の一家屋はゴンドラ舟に乗つて運河に面する幾多の史的家屋を探る旅客にとつては新らしき一つの史的建物として永久に印象を留めるのである。

〔フ黨の惡戰〕 抑も一九一九年頃の伊太利と云へば三十年來社會黨跳梁の結果、國を擧げて左するか右するか恰も累卵の危さを呈してゐた真相を辨へずして徒らに露國の幻影を夢みてゐた共產黨は伊太利の全工場を占領せんと欲し産業革命を唱へて無産主義の國家を建設せんと企てた。他の一方には國民社會黨と稱する一派があつて社會主義を基調にする國家を建設せんとし直接の目的を政府乗取策に置いた。産業革命を高唱する勞働組合は勞働獨占を目的として策

動した。勞働の獨占には一は産業的に占領し一は領土的にも占領を敢へてせんとした。彼等が唱ふる産業占領なるものは鑛業的工場。織物工場。運輸交通機關等をその支配下に置くことであつた。領土的占領なるものは地方的に一縣一郡等の行政及び産業を彼等の統轄下に置くことであつた。

領土的占領を成し遂げた實例はポー河 (The Po) 流域地方である。この地方に於ては農民及び農業勞働者の組合が組織され農業勞働を獨占した。その結果は彼等は地主より土地を奪取し小ソヴイエツト國を現出し一般地方民はその爪牙の犠牲となつた彼等は中央政府の權威を無視し農業的産業的な產出物の物産量を獨斷的に制限し品質及價格をも專獨的に定めた。彼等の命令に服せざる一般民衆を處罰した。中央政府の命を奉せる時も中央政府はこれに法律を適用することが出来なくなつた。彼等は彼等以外の人々の利益を無視した。

勞働組合が國會を無視し政府と對等の位置に

立つて同盟罷業の命令を下し得る團體的組織となるに及んで彼等を指揮する高級機關たる諮問機關は中央政府の權限をとつて代るが如き實況となつた。土地を奪取し得た大衆、製品を支配し得た勞働者はソヴェット謳歌の聲を擧げた産業革命に立脚する勞働組合が暴威を逞くした結果經濟的にも政治的にもまた精神的にも只秩序を混亂せしめた。彼等の豫期に反して農民も製造業者も亦商人も一齊に絶望した。勞働組合は有産階級絶滅を期したが爲めに彼等の行動は所産階級中にも下級に屬する堅實にして實力を有する國民の不滿を買つた。この種の國民は例へば自己勤勞の結果將に所産階級に上らんとする者や或は漸く上り得た國民であつた。勞働組合が提唱する階級争闘は國民一般をして階級意識を各自に益明瞭に抱かした。種々なる階級は各自の階級を意識し各自の權利を主張し防禦する手段を講じた。

伊國に於ける意識された各種の階級を擧ぐるならば、プロ階級と自稱する無産階級、ブル階

級として目の敵にされる中産階級、前二者の何れにも屬せざる無産階級及び有産階級、軍人階級、知識階級、サラリメンの階級、その他各種の職業的に區別される諸階級例へば學校教師とか技術専門家の如きもの、等々があつた。以上の諸階級中最弱くあつたのはブル階級であつた。彼等は肉體的な力に於て劣り精神力も消盡し機能機關を奪はれて無抵抗状態に陥つた。

勞働階級が組織に暴威を逞くし共産主義が凱歌を擧げた時は凡ゆる種類の下層階級の不平者は國家的觀念もなく國民的自覺もなく只私慾を満たし得ることを欲した。都會にあつては彼等は國法を無視して個々の商店に闖入し商品を手を處分する亂暴を敢へてした。斯くて大衆と稱し無産階級なりと稱する者の暴行は擾亂を國內に増加するのみであつた。

共産派は更に軍人を誹謗した。大戦に參加した者は賄賂によるか然らずんば強制されて愛國的軍人の假面を被る者だと云つて詈つた。純眞なる愛國者であつた軍人も一律一概に嘲罵的

となつた。

以上の状勢の許に推移するならば伊國は遂に無産獨裁政治の下に呻吟するに至るかど危まれる程になつた。

所謂無産者が自己のみによつて國家を支持し得ると考へたのは餘りに粗莽な考へ方であつた大衆が赤旗を翳してソツイエツト讚美の聲に酔うてゐる間に伊國本來の三色旗を担ぎ廻る軍人團があつた。また教會の旗を翻して僧侶に導かれる加徒力教團があつた。更に國家の權威の強大し確立することを衷心から願た國家財政政策の一大改革を欲する爾餘の國民があつた。

他の諸政黨が幕地に中央政府の政權を握ることに焦慮してゐた間にフ黨は地方的に地盤を作り漸次中央を捲席する方針をとり恰も熟柿の自ら落つるを待つ態度をとつた。一九一九年ミラノ市の選舉當時はフ黨は實に微々たるものであつた。漸次勢力を増加するに至つたが、フ黨に加入した連中には知識階級、學校教師、青年、學生、精神職業に従事せる者、技術家等があつ

た。フ黨に加つた主なる連中は社會黨共產黨の爲めに損害を受けたる者、彼等の暴威に幻滅を感じた者、國家によつて當然の保護を加へられざりし者、戰爭の結果地位職業を奪はれた者、利害の打算上より加入せし者、生來暴行冒險を好む者、新争鬪を利用し自己發展を圖らんと欲する者、生活の不安に驅られた者、及び共產黨から罵られた軍人、中流階級中の下級に屬する向上心を有する堅實なる人々であつた。斯く部類別をして一見明瞭なるが如くフ黨と雖も烏合の衆であつた。彼等のは政治的訓練がない。黨の中堅は軍人出身者によつて占められて居る。稍もすると彼等は暴行手段に訴へた。

反革命主義の先頭として擡頭したのは農民フ黨であつた。これも亦政治的訓練がない。主として暴力手段を撰んだ連中である。彼等は共產主義全盛時代には夫々自衛手段を構じて居たがフ黨の擡頭を見て愛國に名を藉り自利保護の目的を達せんが爲めにフ黨化したのである。中流階級も亦フ黨に加つた。彼等はフ黨をもつて自

由勞働を擁護するものなりと見做し富の保護者なりと考へたのである。産業的な地方民、職人階級、事務員、店員は熱狂と共鳴を以てフ黨に參加した。中流階級中の下級の者、即ち小地主たることを願つてゐる小作人、小規模の農業經營者、小地主、借地人、勤勞の結果漸く地位を高め得た連中、また既に地位は高かめ得ながら、共產主義の影響をうけて政治的にも社會的にも生活の安定を得なかつた者等は好機逸す可からずとしてフ黨に入黨した。無産者が跋扈した結果自己職業の重要性を認められなくなつた俸給生活者及びその他知能の優越性と職業の重要性とを無視された知識階級も亦フ黨によりて既得權の回復を圖らんとした。從來何れの黨派に對しても不即不離の態度をとつて來た人々もフ黨に對しては參加した。彼等は今まで自己の所屬する階級に關しては朦朧たる意識しか持たなかつたのであるが、共產主義及び勞働運動の爲めに餘儀なく自己の階級を明瞭に意識しその結果上流有産階級、ブルジョア階級、及びプロ

階級の三者の何れに對しても反抗態度をとる程に彼等の仕草を憎むに至つたのでこの際フ黨に參加した。如上の凡ゆる種類に屬しないが今までの共產主義者及び勞働運動者の仕草に賺らす思つて居た者が、今フ黨員の手によつて共產黨及び勞働消費組合の事務所などの破壊されるのを見て快哉を叫び自らフ黨員となつたのである。

以上の如くフ黨は烏合の衆である。不平者の衆群であつたが爲めに黨首の指圖を待たずして事ある毎に暴行手段をとつた。フ黨員がなした最初の暴行手段は一九二〇年の十一月に行はれたボローニア (Bologna) 市の市會開會當時であつた。市會議員の大多數は共產黨員であつたがフ黨員の襲撃によつて市會議事堂の内外に流血の慘を見たのであつた。爾來各地で行はれた暴行手段を見て世評一般は、フ黨成功の秘訣は秩序ある暴行手段なりと云つた。暴行に秩序ありと云つた所以はプロの勞働獨占主義と彼等の組織的運動に對抗する爲めにフ黨は黨員に軍事教

練を施したので他の暴行行爲とは異なる動作があつたからであらう。

フ黨はまたフ黨自らの労働組合を組織した。當時種々性質を異にする労働組合が自衛的に組織された。社會主義に基く労働組合をはじめ加徒力教労働組合と云ふが如きすら組織された。強勢なるプロ主義の労働組合を破る爲めにフ黨は組合員を自黨の組合に拉致し幹部を孤立に陥らしめる方策をとつた。フ黨はまた産業革命者のなした暴壓手段に報ゆる爲めに社會黨及び共產黨が所管する地方自治團の財産を強制的に奪還した。フ黨は更に一般斯る手段に適す可き武装國民團を組織した。政府は共產黨社會黨の年來の暴威の爲めに荒らされてゐたので全く無力となり一政黨の組織する軍隊的結束を阻止する實力を持たなかつた。政府はフ黨の軍隊組織を看過するのみならず國家の軍隊からも秘かに補充すらなしたのである。

膨張したフ黨は烏合の衆を整理して改組の止むなき日が來た。在來の諸政黨は或は力を失ひ

或は吸收されてフ黨の權勢の前に脆く倒れんとした。中央に於けるフ黨幹部は仆れんとする敵黨を追求して却つて反撥せしめることを欲せず社會黨共產黨と一時妥協的態度をとつた。それにも拘らず地方黨員は社會黨共產黨員に對して暴行を頻々で行つた。賢明なるムソリニは地方黨員の暴舉は黨是として認める力(Foote)の吐き違ひであると云つて嘆いた。遂にはフ黨の幹部たることを辭するまでになつた。やがてフ黨が改組されて『國民フ黨』なるものが組織された要するにフ黨は所謂秩序ある暴行時代を経て秩序あり内容ある一大政黨となつて進化の道程を踏んだのである。

新著紹介

○日本工業大觀 (英文) 萬國工業會議編 菊版五八四

頁 寫眞版 圖表 地圖類の圖版七十葉 昭和四年十月

工政會發行 定價六圓

本書は昨秋東京で開かれた萬國工業會議の際日本の工業を海外の會員に知らせる爲めに書かれたものである。我國の工